

# 復興の歩み

東日本大震災10年

津波と大規模な火災を多くの住民が経験した被災・門脇地区。津波は旧北上山から押し寄せた。2011年3月18日



2011年



2021年

震災の犠牲者を追悼し、記憶を伝えるため南浜・門脇地区には「祈念公園」が整備された。2011年11月18日

かつて国産船舶の補修基地として栄えた牡鹿半島の新川地区は、超津波に襲われ、街並みが変化した。2011年4月10日



2011年



2020年

商業施設の再建活動が活発化している。2011年11月18日



2001年

旧北上山の河口に住宅が密集していた南浜・門脇地区。2001年9月（一般社団法人東北地域づくり協会提供）

### ● まちの動き

- 2011年
  - 3月11日 地震発生。石巻市桃生町で震度6強。最大津波浸水高は11.5m。浸水面積は約7300haと平野部の約3割に及んだ
  - 4月29日 仮設住宅への入居開始。プレハブ仮設住宅は被災自治体最多の7153戸を整備。ピーク時1万6788人が暮らし
  - 8月23日 石巻漁港に震災後初めてカツオ、マグロが水揚げ
  - 10月11日 全漁獲所を閉鎖
  - 12月22日 市震災復興基本計画策定
- 2012年
  - 6月9日 市中心部に仮設商店街「石巻まちなか復興マルシェ」開業
  - 8月30日 日本製紙石巻工場が完全復旧し、生産能力を回復
  - 11月17日 石ノ森萬画館が再開
  - 2013年
    - 4月23日 桃浦地区が初の水産業復興特区に認定
    - 2014年
      - 10月 雄勝地区を皮切りに災害公営住宅への入居開始
    - 2015年
      - 3月21日 J R石巻線が全線運行再開。5月30日には仙石線が全線運行再開、仙石東北ライン開業
      - 9月26日 全壊した石巻魚市場が再建し、完成式典
      - 11月3日 土地区画整理事業で整備した新市街地6地区の町名が決まり、新設田地区でまちびらき
    - 2016年
      - 9月1日 J R石巻駅前に移転新築された市立病院が再開
      - 2017年
        - 3月19日 石巻南浜津波復興祈念公園が着工
        - 6月30日 観光交流拠点施設「いしのまき元氣いちば」開業
        - 2018年
          - 7月21日 渡波海水浴場が震災後初の再開
          - 2019年
            - 3月10日 県内最多の災害公営住宅456戸が全て完成
            - 10月4日 牡鹿地区の新拠点エリア「ホエールタウンおしか」の一部開業。翌年7月には観光施設「おしかホエールランド」が9年4カ月ぶりに再開
          - 2020年
            - 1月17日 最後のプレハブ仮設住宅の入居者が退去
            - 9月10日 新内海橋が開通

### ● まちの宝



#### 石巻マンガロード

「漫画の街」をうたう石巻市。中心街には仮面ライダーやサイボーグ009など漫画家の故石ノ森章太郎さんが生み出したキャラクターのモニュメント30体以上が観光客らを出迎える。



#### 鯨料理

水揚げされたばかりのクジラの赤身は臭みがなく柔らかい。体の部位ごとに変わる食感や、ミンク、イワシ、ニタリといったクジラの種類ごとに異なる風味を味わうのも楽しみの一つだ。

宮城 石巻市

## 「祈念公園」語り継ぐ拠点



石巻市南浜・門脇地区に28日、国と宮城県、市が整備した「石巻南浜津波復興祈念公園」が開園する。東日本大震災の犠牲者を悼み、記憶と教訓を後世に語り継ぐ拠点。津波の猛威を展示物で伝える施設や献花台などを備え、一帯は祈りの場となる。

市は沿岸自治体で最大の津波被害を受け、死者・行方不明者（関連死含む）は最多の計3971人に上った。牡鹿半島の漁業集落や太平洋側の市街地など市域の1割超が津波で浸水し、住宅など約2万戸が全壊、市内259カ所の避難所にはピーク時に約5万人が身を寄せた。

旧北上山河口に位置する南浜・門脇地区は震災前、約4800人が暮らし、高さ6m超の津波に襲われた後、流された住宅建材などが燃え、地区住民の死者・不明者は500人以上に達した。

祈念公園の北側には、津波と火災の痕跡を残す旧門脇小の校舎がある。児童74人と教職員10人が犠牲となった河北地区の旧大川小とともに震災遺構として一般公開の準備が進み、2021年度にはそれぞれ見学できるようになる。

被災した半島沿岸部の雄勝、北上、牡鹿各地区では、市が防災集団移転促進事業を活用し集落を高台に移転させた。災害に強いまちを目指して防潮堤も整備したが、建設を巡って住民の合意形成は難航した。

住まいの再建を最優先に進めたまちづくり。ハード整備はほぼ終わったが、人口減少に悩む地域の未来像をどう描くか。「復興後」の課題は多い。



旧北上山沿いの「いしのまき元氣いちば」には、鮮魚や野菜、土産品を扱う売り場とレストランが併設されている。地元住民や観光客でにぎわう＝1月



2020年



2011年

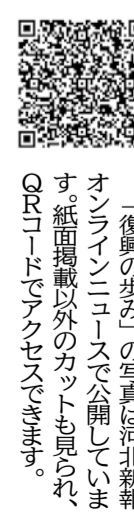
かさ上げ防潮堤建設が進む雄勝地区。花緑の地。城下の遺構は2008年11月18日

津波で住宅が流失した。中央下の建物は大破した雄勝。すずり伝統芸能会館。2011年11月18日

### ● まちのデータ

人口	2021年2月1日 13万8950人	11年3月1日 16万394人	増減率 -13.4%
復興交付金	5505億3506万円		
犠牲者	死亡 3277人	行方不明 418人	関連死 276人
住宅被害	全壊 2万44棟	半壊 1万3049棟	一部破損 1万9948棟

※復興交付金は復興庁まとめて、石巻市内で実施された宮城県事業への交付分を含む。人口、犠牲者、住宅被害は概算



「復興の歩み」の写真を北北新聞 オープンライセンス公開しています。お問い合わせ先は021-247-2474